

親・兄弟、親友、そして自分... 大切な人の生きてきた思いや証を残しませんか

「ききがきすと」のサービス

『**親孝行コース**』：高齢な親や親族の生きてきた証や歴史を今のうちに聞いて残しておきたいという方々に。ご希望で、語り手の話だけでなく、依頼者であるご本人の思いも掲載できます。

『**アンバーサリー・コース**』：定年退職や人生の節目の記念などに、自分の歩いてきた道を記録したいというリタイア世代などに。同僚や仲間、家族の話、仕事に関する資料や写真なども掲載できます。

『**自分史／家族史コース**』：自分が体験した特別な出来事や生きてきた道を、次の世代に記録として残したい方々に。冊子は物足りないという方には、書籍化のお手伝いもします。

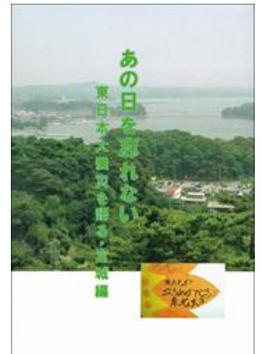
◆基本料金＝52,500円（消費税込み） 〈基本料金に含まれる内容〉

- ・語り手お一人2時間程度の聴き取り。
- ・聞き取り内容を文章化し、冊子にして1冊（24ページ前後）を納品。
- ・写真は5枚程度まで掲載できます。
- ・聴き取り場所までの交通費は実費を請求させていただきます。
ききがきすとの居住地により変動することをあらかじめご了承下さい。
- ・聞き取り終了後、校正、精査などを行い、約8週間を目安に納品します。
- ・冊子の追加は1冊につき1,000円で承ります。

◆オプションもご相談ください。別途、お見積致します

- ・基本料金に収まらない内容は、個別のご相談に応じます。
- ・オリジナルデザイン、書籍化、写真集、CD／DVDなどの作成もご相談ください。

◆出来上がった作品は許可をいただいて、ききがきすとホームページに掲載することがあります。また、電子書籍化の計画もあります。その場合は別途、掲載のご承諾をいただきます。



作品例

「ききがきすと」の活動と目的

◆「聴き書き」とは？

語り手の話にじっくり耳を傾け、その話を書きとめることによって、語り手に代わって「その人なりの自分史」を残すお手伝いをする活動です。あなたや、あなたの大切な方の『生きてきた証』を記録として残したいと思い立ったとき、どうぞ『ききがきすと』をご利用ください。

◆「ききがきすと」とは？

Ryoma21では活動に携わる人を「ききがきすと」と呼んでいます。そして、一定レベル以上の力をもった人を養成し、認定しています。資格を取れば、ご自分で、また、Ryoma21の仲間と活動することができます。養成講座に関してはホームページをご覧ください。

*「ききがきすと」は特許庁に認定されたRyoma21の登録商標です。

◆活動の目的は？

1. 語りたい人のご意向を受け、語った内容を庶民の歴史として残すお手伝いをします。
庶民の歴史こそ日本の宝なのです。
2. NPOの観点からは、聴き書きをしたい人の活躍の場を作ることです。様々な人生を聴かせていただくことで、「ききがきすと」自身も新たな生き方に気づくことができます。

問合せ：NPO法人シニアわーくすRyoma21 <http://www.ryoma21.jp/>
「ききがきすと」専用サイト <http://kikigakist.ryoma21.jp/>
FAX：03-5537-5281 e-mail:info@ryoma21.jp